

平成27年10月30日
ルネサス エレクトロニクス株式会社

平成 28 年 3 月期第 2 四半期決算概要

| | 当第 2 四半期連結会計期間（3ヶ月） （自 平成 27 年 7 月 1 日 至 平成 27 年 9 月 30 日） | | 当第 2 四半期連結累計期間（6ヶ月） （自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 9 月 30 日） | |
|----------------------|---------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------|-------|
| | 億円 | % | 億円 | % |
| 売上高 | 1,814 | 100.0 | 3,607 | 100.0 |
| 半導体売上高 | 1,770 | | 3,515 | |
| その他売上高 | 44 | | 92 | |
| 営業利益 | 307 | 16.9 | 631 | 17.5 |
| 経常利益 | 338 | 18.6 | 671 | 18.6 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 275 | 15.2 | 574 | 15.9 |
| 設備投資額（注③） | 111 | | 307 | |
| 減価償却費等 | 155 | | 309 | |
| 研究開発費 | 270 | | 467 | |
| 米ドル為替レート（円） | 123 | | 122 | |
| ユーロ為替レート（円） | 137 | | 134 | |

| | 当第 2 四半期連結会計期間 （平成 27 年 9 月 30 日） |
|-----------|--------------------------------------|
| | 億円 |
| 総資産 | 8,664 |
| 純資産 | 3,604 |
| 自己資本 | 3,582 |
| 自己資本比率（%） | 41.3 |
| 有利子負債 | 2,548 |

（注）①億円未満を四捨五入して表示しております。

②本四半期決算概要に記載された平成28年3月期第2四半期の連結財務情報につきましては、会計監査人による四半期レビューが終了していません。今後、会計監査人による四半期レビューまたは後発事象等により数値に変更が生じる場合があります。

③設備投資額は、有形固定資産（生産設備）および無形固定資産の発注額を表示しております。

④減価償却費等は、キャッシュ・フロー計算書上の減価償却費と長期前払費用償却額を合算した金額を表示しております。

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 ルネサス エレクトロニクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6723 URL http://japan.renesas.com
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼CEO (氏名)遠藤 隆雄
 問合せ先責任者 (役職名)コーポレート コミュニケーション部長 (氏名)小林 洋一 (TEL)03(6773)3002
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|---------|-------|--------|-------|--------|-------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 360,701 | △13.5 | 63,093 | 24.9 | 67,121 | 36.7 | 57,409 | 63.5 |
| 27年3月期第2四半期 | 416,928 | 0.0 | 50,526 | 144.2 | 49,094 | 252.9 | 35,118 | — |

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 48,514 百万円(4.0%) 27年3月期第2四半期 46,661 百万円(-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 34.44 | — |
| 27年3月期第2四半期 | 21.07 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 866,364 | 360,414 | 41.3 |
| 27年3月期 | 840,087 | 311,909 | 36.8 |

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 358,236 百万円 27年3月期 309,529 百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期 第3四半期(累計)の連結業績予想(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | | 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|---------|-------|--------|------|--------|------|------------------|-------|-----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第3四半期 (累計) | 523,700 | △14.0 | 77,100 | △3.6 | 80,100 | △2.7 | 62,900 | △14.2 | 37.73 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。詳細は添付資料P.5をご参照下さい。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(注) 詳細は、添付資料P. 6をご覧ください。 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更
(注) 詳細は、添付資料P. 6をご覧ください。 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|----------|----------------|----------|----------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 28年3月期2Q | 1,667,124,490株 | 27年3月期 | 1,667,124,490株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期2Q | 2,581株 | 27年3月期 | 2,548株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 28年3月期2Q | 1,667,121,939株 | 27年3月期2Q | 1,667,121,942株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本四半期決算短信に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因の変化により大きく乖離する可能性があります。

当社は、平成27年10月30日(金)に機関投資家およびアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、同日中に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 5 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 6 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 6 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 6 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 6 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 7 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 7 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 13 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 15 |
| (四半期連結損益計算書関係) | 15 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 15 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 15 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1. 当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）の連結業績

(単位：億円)

| | 前第2四半期 連結累計期間 | 当第2四半期 連結累計期間 | 前年同期比 増(減) | |
|----------------------|------------------|------------------|---------------|--------|
| | | | 金額 | 比率 |
| 売上高 | 4,169 | 3,607 | △562 | △13.5% |
| （半導体売上高） | 4,008 | 3,515 | △493 | △12.3% |
| （その他売上高） | 161 | 92 | △69 | △43.0% |
| 営業利益 | 505 | 631 | 126 | 24.9% |
| 経常利益 | 491 | 671 | 180 | 36.7% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 351 | 574 | 223 | 63.5% |
| 米ドル為替レート（円） | 102 | 122 | — | — |
| ユーロ為替レート（円） | 139 | 134 | — | — |

当第2四半期連結累計期間における連結業績は以下のとおりであります。

(売上高)

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前第2四半期連結累計期間と比べ13.5%減少し3,607億円となりました。米ドル為替レートが改善したものの、当社グループが推進している事業の選択と集中により、携帯端末など中小型パネル向け表示ドライバICなどの半導体売上高が減少したことが、売上減の主な要因であります。また、当第2四半期連結累計期間の半導体売上高については、前第2四半期連結累計期間と比べ12.3%減少し3,515億円となりました。

(営業利益)

当第2四半期連結累計期間の営業利益は631億円となり、前第2四半期連結累計期間と比べ126億円の改善となりました。これは、米ドル為替レートが改善したことに加え構造改革施策の実行により売上総利益率などの収益構造が改善したことなどによるものです。

(経常利益)

当第2四半期連結累計期間の経常利益は671億円となり、前第2四半期連結累計期間と比べ180億円の改善となりました。これは、為替差益などの営業外収益を66億円計上したことなどにより、営業外損益が40億円の利益となったことによるものです。なお、当第2四半期連結累計期間における為替差益は46億円となりました。これは、当第2四半期連結会計期間末時点での外貨建て現金及び預金、債権、債務の為替レートの変動による評価替えと、売上、仕入の計上時と決済時の為替レートの差により計上したものです。

(親会社株主に帰属する四半期純利益)

当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は574億円となり、前第2四半期連結累計期間と比べ223億円の改善となりました。これは、営業損益や経常損益の改善に加え前第2四半期連結累計期間と比べて事業構造改善費用を中心とした特別損失の計上減少したことなどによるものです。

2. 当第2四半期連結会計期間（平成27年7月1日～平成27年9月30日）の連結業績

(単位：億円)

| | 前第2四半期 連結会計期間 | 当第2四半期 連結会計期間 | 前年同期比 増(減) | |
|----------------------|------------------|------------------|---------------|--------|
| 売上高 | 2,077 | 1,814 | △263 | △12.6% |
| (半導体売上高) | 1,996 | 1,770 | △226 | △11.3% |
| (その他売上高) | 81 | 44 | △37 | △45.3% |
| 営業利益 | 235 | 307 | 72 | 30.5% |
| 経常利益 | 238 | 338 | 100 | 42.1% |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 139 | 275 | 136 | 97.8% |
| 米ドル為替レート(円) | 102 | 123 | — | — |
| ユーロ為替レート(円) | 138 | 137 | — | — |

当第2四半期連結会計期間（以下「当第2四半期」）における連結業績は以下のとおりであります。

(売上高)

当第2四半期の売上高は、前第2四半期連結会計期間（以下「前第2四半期」）と比べ12.6%減少し1,814億円となりました。当社の主要な事業である半導体事業による売上高とその他売上高が減少したことによるものです。

(半導体売上高)

当第2四半期の半導体売上高は、前第2四半期と比べ11.3%減少し1,770億円となりました。当社グループの主要な事業内容である「自動車向け事業」、「汎用向け事業」およびこれらに属さない「その他半導体」の各売上高は、以下のとおりであります。

<自動車向け事業>：824億円

自動車向け事業には、自動車のエンジンや車体などを制御する半導体を提供する「車載制御」とカーナビゲーションなどの車載情報機器向け半導体を提供する「車載情報」が含まれております。当社はそれぞれマイクロコントローラ、アナログ&パワー半導体、SoC（システム・オン・チップ）を提供しております。

当第2四半期における自動車向け事業の売上高は、前第2四半期と比べ4.5%増加し824億円となりました。「車載制御」および「車載情報」の売上が共に増加したことなどによるものであります。

<汎用向け事業>：936億円

汎用向け事業には、産業機器や白物家電など向け半導体を提供する「産業・家電」、複合機などのOA（Office Automation）機器やネットワークインフラなどのICT（Information and Communication Technology）機器向け半導体を提供する「OA・ICT」およびその他の汎用半導体を提供する「汎用製品」が含まれております。当社はそれぞれマイクロコントローラ、アナログ&パワー半導体、SoCを提供しております。

当第2四半期における汎用向け事業の売上高は、前第2四半期と比べ21.8%減少し936億円となりました。主に「OA・ICT」および「産業・家電」の売上が増加したものの、当社が推進している事業の選択と集中などにより、「汎用製品」において売上が減少したことによるものであります。特に、「汎用製品」においては、中小型パネル向け表示ドライバICを事業対象とする連結子会社であった(株)ルネサスエスピードライバの当社が保有する全株式を平成26年10月1日付で米国Synaptics Incorporatedの欧州子会社に譲渡したため、前第2四半期と比べ売上が減少しました。

<その他半導体事業>：10億円

その他半導体事業には、主に受託生産やロイヤルティ収入が含まれております。

当第2四半期におけるその他半導体事業の売上高は、前第2四半期と比べ2.5%減少し10億円となりました。

(その他売上高)

その他売上高には、当社の設計および生産子会社が行っている半導体の受託開発、受託生産などが含まれております。

当第2四半期におけるその他売上高は、前第2四半期と比べ45.3%減少し44億円となりました。

(営業利益)

当第2四半期の営業利益は307億円となり、前第2四半期と比べ72億円の改善となりました。これは、米ドル為替レートが改善したことに加え構造改革施策の実行により売上総利益率などの収益構造が改善したことなどによるものです。

(経常利益)

当第2四半期の経常利益は338億円となり、前第2四半期と比べ100億円の改善となりました。これは、為替差益などの営業外収益を46億円計上したことなどにより、営業外損益が30億円の利益となったことによるものです。なお、当第2四半期連結会計期間における為替差益は33億円となりました。これは、当第2四半期連結会計期間末時点での外貨建て現金及び預金、債権、債務の為替レートの変動による評価替えと、売上、仕入の計上時と決済時の為替レートの差により計上したものです。

(親会社株主に帰属する四半期純利益)

当第2四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益は275億円となり、前第2四半期と比べ136億円の改善となりました。これは、営業損益や経常損益の改善に加え前第2四半期と比べて事業構造改善費用を中心とした特別損失の計上が減少したことなどによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債および純資産の状況

(単位：億円)

| | 当第1四半期 連結会計期間 (平成27年6月30日) | 当第2四半期 連結会計期間 (平成27年9月30日) | 前四半期比 増(減) |
|-----------|----------------------------------|----------------------------------|---------------|
| 総資産 | 8,518 | 8,664 | 146 |
| 純資産 | 3,447 | 3,604 | 157 |
| 自己資本 | 3,424 | 3,582 | 159 |
| 自己資本比率(%) | 40.2 | 41.3 | 1.2 |
| 有利子負債 | 2,594 | 2,548 | △46 |
| D/Eレシオ(倍) | 0.76 | 0.71 | △0.05 |

当第2四半期の総資産は8,664億円で、当第1四半期連結会計期間（以下「当第1四半期」）と比べ146億円の増加となりました。これは、当第2四半期において、構造改革施策の推進により税金等調整前四半期純利益を計上したことにより、営業活動に関するフリー・キャッシュ・フローが改善し現金及び預金が増加したことなどによるものです。純資産は3,604億円で、当第1四半期と比べ157億円の増加となりました。これは、当2四半期において、新興国通貨に対して円高となり為替換算調整勘定が悪化したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を275億円計上したことなどによるものです。

自己資本は、当第1四半期と比べ159億円増加し、自己資本比率は41.3%となりました。また、有利子負債は、当第1四半期と比べ46億円の減少となりました。これらの結果、D/Eレシオは0.71倍となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

| | 前第2四半期 連結会計期間 | 当第2四半期 連結会計期間 |
|------------------|------------------|------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 495 | 451 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △149 | △120 |
| フリー・キャッシュ・フロー | 347 | 331 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △48 | △88 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,518 | 3,687 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,882 | 3,881 |

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは451億円の収入となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益を299億円計上したこと、およびその中に含まれる減価償却費などの非資金損益項目を調整したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは120億円の支出となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出を計上したことなどによるものであります。

この結果、当第2四半期におけるフリー・キャッシュ・フローは331億円の収入となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは88億円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが属する半導体業界では事業環境が短期間に大きく変化するという特徴があり、通期の業績予想について信頼性の高い数値を的確に算出することが困難であることから、四半期ごとの連結業績予想を開示しております。

<平成28年3月期第3四半期(累計)連結業績予想(平成27年4月1日～12月31日)>

| | 売上高 | (参考) 半導体売上高 | 営業利益 | 経常利益 | (単位:百万円) 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 |
|-----------------------------------|---------|----------------|--------|--------|--------------------------------------|
| 期初予想(a) | — | — | — | — | — |
| 今回(10/30公表)予想(b) | 523,700 | 510,500 | 77,100 | 80,100 | 62,900 |
| 増減額(b-a) | — | — | — | — | — |
| 増減率(%) | — | — | — | — | — |
| (ご参考)前期第3四半期実績 (平成27年3月期第3四半期) | 608,864 | 578,188 | 79,986 | 82,283 | 73,320 |

当第3四半期連結累計期間の業績予想は、平成28年3月期第2四半期連結累計期間の実績値に第3四半期連結会計期間の業績見通しを加算した数値を記載しております。また、当第3四半期連結累計期間の業績予想にあたっては、1米ドル120円、1ユーロ133円を前提としております。

なお、当業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績は、今後の様々な要因の変化により、当業績見通しと乖離する可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成27年4月1日付けでの当社グループ内の設計・開発機能の再編に伴う合併による消滅により1社を連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当第2四半期連結累計期間
(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、
第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得または売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得または売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結財務諸表等におけるキャッシュ・フロー計算書の作成に関する実務指針第26-4項に定める経過的な取扱いに従っており、比較情報の組替えは行っておりません。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|-------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 344,000 | 388,694 |
| 受取手形及び売掛金 | 91,471 | 86,070 |
| 商品及び製品 | 38,203 | 41,983 |
| 仕掛品 | 66,761 | 68,202 |
| 原材料及び貯蔵品 | 6,457 | 6,376 |
| 未収入金 | 14,174 | 15,621 |
| その他 | 10,089 | 8,779 |
| 貸倒引当金 | △92 | △87 |
| 流動資産合計 | 571,063 | 615,638 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 73,920 | 71,679 |
| 機械及び装置(純額) | 55,233 | 56,098 |
| 車両運搬具及び工具器具備品(純額) | 16,745 | 17,032 |
| 土地 | 27,277 | 27,274 |
| 建設仮勘定 | 8,640 | 7,621 |
| 有形固定資産合計 | 181,815 | 179,704 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 9,743 | 9,173 |
| その他 | 18,509 | 16,725 |
| 無形固定資産合計 | 28,252 | 25,898 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,108 | 7,852 |
| 長期前払費用 | 35,024 | 30,676 |
| その他 | 15,826 | 6,597 |
| 貸倒引当金 | △1 | △1 |
| 投資その他の資産合計 | 58,957 | 45,124 |
| 固定資産合計 | 269,024 | 250,726 |
| 資産合計 | 840,087 | 866,364 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 電子記録債務 | 9,275 | 9,213 |
| 支払手形及び買掛金 | 76,364 | 74,838 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 6,700 | 14,850 |
| リース債務 | 1,135 | 1,107 |
| 未払金 | 37,337 | 32,935 |
| 未払費用 | 36,875 | 35,935 |
| 未払法人税等 | 5,785 | 5,923 |
| 製品保証引当金 | 366 | 301 |
| 事業構造改善引当金 | 3,871 | 4,694 |
| 偶発損失引当金 | 252 | 260 |
| 資産除去債務 | 2,089 | 446 |
| その他 | 6,009 | 6,720 |
| 流動負債合計 | 186,058 | 187,222 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 246,505 | 234,005 |
| リース債務 | 5,385 | 4,845 |
| 事業構造改善引当金 | 2,980 | 1,882 |
| 退職給付に係る負債 | 50,489 | 47,178 |
| 資産除去債務 | 2,862 | 2,915 |
| その他 | 33,899 | 27,903 |
| 固定負債合計 | 342,120 | 318,728 |
| 負債合計 | 528,178 | 505,950 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 228,255 | 10,000 |
| 資本剰余金 | 525,413 | 191,919 |
| 利益剰余金 | △475,815 | 133,343 |
| 自己株式 | △11 | △11 |
| 株主資本合計 | 277,842 | 335,251 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 716 | 542 |
| 為替換算調整勘定 | 13,716 | 5,272 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 17,255 | 17,171 |
| その他の包括利益累計額合計 | 31,687 | 22,985 |
| 非支配株主持分 | 2,380 | 2,178 |
| 純資産合計 | 311,909 | 360,414 |
| 負債純資産合計 | 840,087 | 866,364 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 416,928 | 360,701 |
| 売上原価 | 254,799 | 195,405 |
| 売上総利益 | 162,129 | 165,296 |
| 販売費及び一般管理費 | 111,603 | 102,203 |
| 営業利益 | 50,526 | 63,093 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 406 | 369 |
| 受取配当金 | 23 | 20 |
| 持分法による投資利益 | 123 | 9 |
| 為替差益 | 755 | 4,595 |
| その他 | 588 | 1,584 |
| 営業外収益合計 | 1,895 | 6,577 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,586 | 1,462 |
| 退職給付費用 | 777 | - |
| その他 | 964 | 1,087 |
| 営業外費用合計 | 3,327 | 2,549 |
| 経常利益 | 49,094 | 67,121 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 169 | 453 |
| 事業譲渡益 | - | 251 |
| 投資有価証券売却益 | 107 | 60 |
| 債務消滅益 | 1,694 | - |
| 特別利益合計 | 1,970 | 764 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 115 | 34 |
| 減損損失 | 496 | 74 |
| 事業構造改善費用 | ※1 7,705 | ※1 5,413 |
| 投資有価証券売却損 | - | 138 |
| 偶発損失引当金繰入額 | 240 | 62 |
| 特別損失合計 | 8,556 | 5,721 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 42,508 | 62,164 |
| 法人税等 | 4,973 | 4,521 |
| 四半期純利益 | 37,535 | 57,643 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 2,417 | 234 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 35,118 | 57,409 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 四半期純利益 | 37,535 | 57,643 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2 | △143 |
| 為替換算調整勘定 | 7,952 | △8,871 |
| 退職給付に係る調整額 | 1,140 | △82 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 32 | △33 |
| その他の包括利益合計 | 9,126 | △9,129 |
| 四半期包括利益 | 46,661 | 48,514 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 44,065 | 48,707 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 2,596 | △193 |

四半期連結損益計算書

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結会計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日) |
|------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 207,669 | 181,399 |
| 売上原価 | 126,026 | 95,944 |
| 売上総利益 | 81,643 | 85,455 |
| 販売費及び一般管理費 | 58,101 | 54,725 |
| 営業利益 | 23,542 | 30,730 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 199 | 188 |
| 受取配当金 | 15 | 8 |
| 持分法による投資利益 | 79 | 3 |
| 為替差益 | 1,421 | 3,342 |
| その他 | 310 | 1,070 |
| 営業外収益合計 | 2,024 | 4,611 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 791 | 733 |
| 退職給付費用 | 387 | - |
| その他 | 637 | 854 |
| 営業外費用合計 | 1,815 | 1,587 |
| 経常利益 | 23,751 | 33,754 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 137 | 178 |
| 投資有価証券売却益 | 77 | 13 |
| 債務消滅益 | 1,694 | - |
| 特別利益合計 | 1,908 | 191 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 114 | 5 |
| 減損損失 | 426 | 45 |
| 事業構造改善費用 | ※1 6,997 | ※1 3,859 |
| 投資有価証券売却損 | - | 138 |
| 偶発損失引当金繰入額 | 10 | 38 |
| 特別損失合計 | 7,547 | 4,085 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 18,112 | 29,860 |
| 法人税等 | 2,998 | 2,104 |
| 四半期純利益 | 15,114 | 27,756 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1,195 | 219 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 13,919 | 27,537 |

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結会計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日) |
|------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 四半期純利益 | 15,114 | 27,756 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △3 | △96 |
| 為替換算調整勘定 | 9,333 | △12,018 |
| 退職給付に係る調整額 | 897 | 68 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 19 | △40 |
| その他の包括利益合計 | 10,246 | △12,086 |
| 四半期包括利益 | 25,360 | 15,670 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 23,989 | 15,882 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1,371 | △212 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 42,508 | 62,164 |
| 減価償却費 | 27,086 | 24,596 |
| 長期前払費用償却額 | 5,815 | 6,292 |
| 減損損失 | 496 | 74 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △6,470 | △3,816 |
| 事業構造改善引当金の増減額(△は減少) | 1,892 | △146 |
| 偶発損失引当金の増減額(△は減少) | △473 | 8 |
| 受取利息及び受取配当金 | △429 | △389 |
| 支払利息 | 1,586 | 1,462 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △123 | △9 |
| 投資有価証券売却及び評価損益(△は益) | △107 | 78 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △54 | △419 |
| 事業構造改善費用 | 1,905 | 1,469 |
| 事業譲渡損益(△は益) | - | △251 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △20,118 | 4,167 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 7,444 | △6,077 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | 3,755 | 1,783 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △449 | 738 |
| 未払金及び未払費用の増減額(△は減少) | 179 | △6,728 |
| その他 | △3,132 | △3,601 |
| 小計 | 61,311 | 81,395 |
| 利息及び配当金の受取額 | 500 | 460 |
| 利息の支払額 | △1,587 | △1,467 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | △3,558 | △3,372 |
| 特別退職金の支払額 | △5,113 | △397 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 51,553 | 76,619 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △19,435 | △20,532 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 618 | 540 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △4,022 | △1,389 |
| 長期前払費用の取得による支出 | △1,297 | △1,443 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △417 | △448 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 521 | 619 |
| 子会社株式の取得による支出 | △3,200 | - |
| 事業譲渡による収入 | - | 252 |
| 事業譲渡による支出 | △448 | - |
| 貸付金の回収による収入 | 700 | 4,550 |
| その他 | 1,205 | 497 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △25,775 | △17,354 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|----------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △2,000 | - |
| 長期借入れによる収入 | 3,000 | - |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,183 | △4,350 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △1,886 | △591 |
| 割賦債務の返済による支出 | △6,362 | △7,560 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △8,431 | △12,501 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 5,000 | △2,402 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 22,347 | 44,362 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 265,897 | 343,722 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 288,244 | 388,084 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

※1 事業構造改善費用

当社グループは、強靱な収益構造の構築に向けて人的合理化施策を含む事業・生産構造対策などの諸施策を実行しており、それらの施策により発生した費用を事業構造改善費用に計上しております。

前第2四半期連結累計期間および当第2四半期連結累計期間における事業構造改善費用の内訳は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) |
|---------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 割増退職金等人件費関係費用 | 5,904百万円 | 1,059百万円 |
| 減損損失 | 568 " | 1,295 " |
| その他(※) | 1,233 " | 3,059 " |
| 計 | 7,705百万円 | 5,413百万円 |

(※)当第2四半期連結累計期間におけるその他の主な内容は、拠点集約に伴う設備撤去費用や設計・開発拠点の再編に係る設備の移設費用などを計上したことによるものです。

前第2四半期連結会計期間および当第2四半期連結会計期間における事業構造改善費用の内訳は次のとおりであります。

| | 前第2四半期連結会計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日) |
|---------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 割増退職金等人件費関係費用 | 5,458百万円 | 593百万円 |
| 減損損失 | 568 " | 1,295 " |
| その他(※) | 971 " | 1,971 " |
| 計 | 6,997百万円 | 3,859百万円 |

(※)当第2四半期連結会計期間におけるその他の主な内容は、拠点集約に伴う設備撤去費用などを計上したことによるものです。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項は有りません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年6月24日開催の第13期定時株主総会決議に基づき、平成27年9月30日付で資本金の額を218,255百万円、資本準備金の額を163,789百万円それぞれ減少させその他資本剰余金へ振替えた後、その他資本剰余金の額うち551,749百万円を繰越利益剰余金へ振替えて欠損の填補を行いました。

〔将来予測に関する注意〕

本資料に記載されている当社グループの計画、戦略および業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、（１）当社グループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、（２）為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動、（３）地震、台風、洪水等の自然災害、事故、テロをはじめとした当社グループがコントロールできない事由、（４）市場における当社グループの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、（５）激しい競争にさらされた市場において当社グループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

<本件に関する問合せ先>

ルネサス エレクトロニクス株式会社 コーポレートコミュニケーション部
〔報道関係〕03-6773-3001(直通) 〔IR関係〕03-6773-3002(直通)